

様式第三号

医療法第51条第2項該当法人

法人名 社会医療法人 大成会

医療法人番号

所在地 福岡県福岡市早良区西新1丁目1番35号

財 産 目 録

(令和5年3月31日現在)

1. 資	産	額	10,950,280 千円
2. 負	債	額	1,404,968 千円
3. 純	資 産	額	9,545,312 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	6,507,573
B 固 定 資 産	4,442,707
C 資 産 合 計 (A + B)	10,950,280
D 負 債 合 計	1,404,968
E 純 資 産 (C - D)	9,545,312

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地	(☐ 法人所有 ☐ 賃借 ☒ 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物	(☒ 法人所有 ☐ 賃借 ☐ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式第一号

医療法第51条第2項該当法人

法人名 社会医療法人 大成会

医療法人番号

所在地 福岡県福岡市早良区西新1丁目1番35号

貸 借 対 照 表

(令和5年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	6,507,573	I 流 動 負 債	919,842
現金及び預金	4,646,380	買掛金	300,270
事業未収金	1,794,635	未払金	336,196
たな卸資産	49,846	未払費用	168,921
前払費用	18,677	未払法人税等	71
貸付金	3,415	未払消費税等	4,944
その他流動資産	5,400	預り金	37,105
貸倒引当金	△ 10,780	その他流動負債	178
II 固 定 資 産	4,442,707	賞与引当金	72,156
1 有 形 固 定 資 産	4,114,644	II 固 定 負 債	485,127
建物	1,524,922	預り保証金	1,507
構築物	13,952	退職給付引当金	420,586
医療用器械備品	408,764	役員退職慰労引当金	63,034
その他の器械備品	81,665		
車両及び船舶	6,140		
土地	1,405,900		
建設仮勘定	673,302		
2 無 形 固 定 資 産	260,097		
ソフトウェア	259,597		
その他の無形固定資産	500		
3 そ の 他 の 資 産	67,966		
出資金	14,181	負債合計	1,404,968
差入保証金	6,150	純資産の部	
長期前払費用	47,018	科 目	金 額
長期前払消費税	617	I 積 立 金	9,545,312
		設立等積立金	9,000
		病院建設改修積立金	2,000,000
		繰越利益積立金	7,536,312
		II 評価・換算差額等	—
		その他有価証券評価差額金	—
		繰延ヘッジ損益	—
		純資産合計	9,545,312
資産合計	10,950,280	負債・純資産合計	10,950,280

(注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

2. 社会医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。

3. 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

様式第二号

医療法第51条第2項該当法人

法人名 社会医療法人 大成会

医療法人番号

所在地 福岡県福岡市早良区西新1丁目1番35号

損 益 計 算 書

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		8,520,959
2 事業費用		
(1)事業費	8,022,755	
(2)本部費	—	8,022,755
本来業務事業利益		498,204
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		—
2 事業費用		—
付帯業務事業利益		—
C 収益業務事業損益		
1 事業収益		8,388
2 事業費用		13,529
収益業務事業損失		5,141
事業利益		493,063
II 事業外収益		
受取利息	22	
その他の事業外収益	57,211	57,233
III 事業外費用		
その他の事業外費用	1,639	1,639
経常利益		548,657
IV 特別利益		
固定資産受贈益	15,000	
その他の特別利益	28,249	43,249
V 特別損失		
固定資産売却損	—	
その他の特別損失	—	—
税引前当期純利益		591,904
法人税・住民税及び事業税		71
当期純利益		591,833

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。

2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

〔別 紙〕

様式 1

事 業 報 告 書
(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

1 医療法人の概要

- (1) 名 称 社会医療法人 大成会
 ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☒ 出資持分なし ☐ 出資持分あり)
 ② ☒ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人
☐ 出資額限度法人 ☐ その他
 ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用
- (2) 事務所の所在地 福岡県福岡市早良区西新1丁目1番35号
- (3) 設立認可年月日 昭和39年3月21日
- (4) 設立登記年月日 昭和39年4月1日
- (5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	黒田 康夫	福岡記念病院施設管理者
理 事	大塚 秀一	
同	上野 高史	
同	舩元 章浩	
同	吉開 友則	福岡記念 P E T ・ 健診センター施設管理者
同	万野 貴司	
監 事	浅野 秀樹	
同	木村 和彦	

- 注) 1. 社会医療法人、特別医療法人及び特定医療法人以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。
2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の管理者であることを記載すること。（医療法第47条第1項参照）
3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。（医療法第49条の4参照）

2 事業の概要

(1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院	福岡記念病院	福岡県福岡市早良区西新1丁目1番35号	一般病床 239床
診療所	福岡記念PET・健診センター	福岡市中央区今川2丁目16-16	なし
介護老人保健施設			

注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を[]書で記載すること。

3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

(3) 収益業務（社会医療法人又は特別医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考
貸家業	福岡市中央区今川2丁目1番48号 福岡県糸島市浦志2丁目2番1号	
駐車場業	福岡市中央区今川2丁目1番48号	

(4) 当該会計年度内に社員総会で議決又は同意した事項

令和4年	6月	28日	令和3年度決算報告書の承認に関する件 PET/CTおよび3テスラMRIの保守契約の承認の件 医療法人真心会 むらやま泌尿器科クリニック、医療法人正誠会 倉重病院の事業譲渡の件、西新パレス跡地購入の承認の件
令和4年	9月	28日	役員賠償責任保険契約の承認に関する件 アブレーションシステム購入の承認に関する件 エックス線テレビ更新の承認に関する件 医療法人真心会 むらやま泌尿器科クリニック、医療法人正誠会 倉重病院の事業譲渡の件および西新パレス跡地購入の承認の件
令和4年	12月	27日	西新パレス跡地購入の承認の件（定款変更を伴う） アブレーションシステム更新の件 手術室内視鏡更新の件 眼科手術機器更新の件 院内WiFi導入、院内電話システム更新の件 SPD委託先変更の件 医療法人正誠会倉重病院事業譲渡の件
令和5年	3月	20日	西新パレス跡地購入に伴う借入金の銀行選定について（書類選考）
令和5年	3月	24日	令和5年度事業計画(案)承認の件 令和5年度収支計画(案)承認の件 令和5年度借入金の最高限度額決定の件 西新パレス跡地購入の件 一般撮影装置更新の件 医療法人正誠会 倉重病院の事業譲渡の件

注) (5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

令和4年7月20日 新型コロナウイルス感染症患者等の受入病床を割り当てられた医療機関
（フェーズ4からフェーズ5に移行時に即応病床に切り替わる病床1床
（追加））

(9) その他

法人名 社会医療法人 大成会

医療法人番号

(1)法人である関係事業者

[illegible]

(2)個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
該当なし							

(注) 1 種類は法第51条第1項に定める関係事業者のうち該当する場合である場合には続柄を記載する。近親者である場合は続柄を記載する。

2 該当する取引がない場合には、「種類」欄に該当なしと記載する。(様式の提出は必要)

様式 6

監 事 監 査 報 告 書

社会医療法人 大成会
理事長 黒田 康夫 殿

私たちは、社会医療法人大成会の令和4会計年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

令和5年 6 月 12 日
社会医療法人 大成会

監事

浅野 秀



監事

木村 和彦



重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

1 継続事業の前提に関する事項

該当なし

2 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券

・出資金

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) たな卸資産

最終仕入原価法を採用しております。

3 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しております。

但し、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）については、定額法を採用しております。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

但し、ソフトウェア（法人内使用分）については、法人内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

4 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

前々会計年度末日の負債総額が200億円未満であることから、法人税法（昭和40年法律第34号）における貸倒引当金の繰入限度相当額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち当会計年度に負担すべき額を計上しております。

(3) 退職給付引当金

役職員の退職給付に備えるため、当会計年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。なお当医療法人は、前々会計年度末日の負債総額が200億円未満であることから、簡便法による期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を採用しております。

(4) 役員退職慰労引当金

役員への退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額により計上しております。

5 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の会計処理方法は税抜方式を採用しております。但し、固定資産に係る控除対象外消費税は長期前払消費税に計上し、5年間で均等償却を行っております。

6 その他貸借対照表等作成のための基本となる重要な事項

補助金等の内訳並びに交付者、貸借対照表等への影響額

	内訳	交付者	損益計算書 影響額 (単位：千円)	貸借対照表 影響額 (単位：千円)
1	令和4年度 福岡県新型コロナウイルス感染症重点医療機関体制整備事業費補助金	福岡県	31,518	
2	令和4年度 福岡県新型コロナウイルス感染症重点医療機関体制整備事業費補助金	福岡県	31,228	31,228
3	令和4年度 福岡県新型コロナウイルス感染症重点医療機関体制整備事業費補助金	福岡県	23,606	23,606
4	令和4年度 福岡県新型コロナウイルス感染症重点医療機関体制整備事業費補助金	福岡県	12,408	
5	令和4年度 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費インバウンド安全・安心対策推進事業費補助金	国土交通省	12,250	
6	令和4年度 福岡県看護職員処遇改善事業補助金	福岡県	11,333	
7	令和4年度 臨床研修費等補助金	福岡県	8,126	
8	令和4年度 福岡県医療機関等物価高騰対策支援金	福岡県	7,470	
9	その他補助金	福岡県他	60,872	17,061
	合計		198,811	71,895

7 重要な会計方針を変更した旨等

該当なし

8 資産及び負債のうち収益業務に関する事項・収益業務からの繰入金の状況に関する事項

該当なし

9 担保に供されている資産に関する事項

病院本館及び南館の土地建物に根抵当権設定 極度額金6億円

根抵当権者 ㈱福岡銀行

債権の範囲 銀行取引 手形債権 小切手債権

10 法第51条第1項に規定する関係事業者に関する事項

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業 内容	関係事業者との関係	取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
該当 なし									

取引条件及び取引条件の決定方針等

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
該当 なし							

取引条件及び取引条件の決定方針等

11 重要な偶発債務に関する事項

該当なし

12 重要な後発事象に関する事項

該当なし

13 その他医療法人の財政状態又は損益の状況を明らかにするために必要な事項

有形固定資産の減価償却累計額 7,449,616千円

様式第四号

医療法第51条第2項該当法人

法人名 社会医療法人 大成会
所在地 福岡県福岡市早良区西新1丁目1番35号

医療法人番号

純資産変動計算書
(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

	基金 (又は出資金)	積立金				評価・換算差額等			純資産合計
		設立等積立金	病院建設 改修積立金	繰越利益積立金	積立金合計	その他有価証券 評価差額金	繰越ヘッジ 損 益	評価・換算 差額等合計	
令和4年4月1日 残高		9,000	2,000,000	6,944,479	8,953,479				8,953,479
会計年度中の変動額									
当期純利益				591,833	591,833				591,833
その他の当会計年度 の変動額									
会計年度中の変動額合計				591,833	591,833				591,833
令和5年3月31日 残高		9,000	2,000,000	7,536,312	9,545,312				9,545,312

1. 純資産の変動事由及び金額の掲載は、概ね貸借対照表における記載の順序によること。
2. 評価・換算差額等は、科目ごとの記載に代えて評価・換算差額等の合計額を、前会計年度末残高、会計年度中の変動額及び会計年度末残高に区分して記載することができ。この場合には、科目ごとのそれぞれの金額を注記すること。
3. 積立金及び純資産の各合計欄の記載は省略することができる。

様式第五号

医療法第51条第2項該当法人

法人名 社会医療法人 大成会

医療法人番号

所在地 福岡県福岡市早良区西新1丁目1番35号

有形固定資産等明細表

資産の種類		前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (千円)	当期末残高 (千円)	当期末減価 却累計額又は 償却累計額 (千円)	当期償却額 (千円)	差 引 当期末残高 (千円)
有形 固定 資産	建物	4,825,350	43,970	0	4,869,320	3,344,399	102,335	1,524,922
	構築物	109,318	265	0	109,583	95,631	2,352	13,952
	医療用器械備品	3,823,165	264,601	58,255	4,029,511	3,620,748	209,261	408,764
	その他の器械備品	450,292	7,201	6,656	450,837	369,173	39,603	81,665
	車両及び船舶	19,453	6,351	0	25,804	19,665	333	6,140
	土地	1,405,900	0	0	1,405,900			1,405,900
	建設仮勘定	0	673,302	0	673,302			673,302
	計	10,633,478	995,690	64,911	11,564,257	7,449,616	353,884	4,114,644
無形 固定 資産	ソフトウェア	361,069	178,392	0	539,461	279,864	83,672	259,597
	その他の無形固定資産	500	0	0	500			500
	計	361,569	178,392	0	539,961	279,864	83,672	260,097
その 他の 資産	出資金	181	14,000	0	14,181			14,181
	差入保証金	6,150	0	0	6,150			6,150
	長期前払費用	11,722	39,675	4,379	47,018			47,018
	長期前払消費税	1,330	0	714	617			617
	計	19,383	53,675	5,093	67,966	0	0	67,966

※医療用器械備品 増加 島津診断用X線装置 32,000千円、島津FPD搭載X線TVシステム 23,800千円、外科用ストルツ腹腔鏡システム 23,399千円、島津血管撮影システムTrinias F8移設費 21,714千円 他

建設仮勘定 増加 新病院建築用地購入に伴う手付金 673,302千円

ソフトウェア 増加 手術部門システム及び重症部門システム 132,000千円、タック総合健診システム 24,700千円 他

1. 有形固定資産、無形固定資産及びその他の資産について、貸借対照表に掲げられている科目の区分により記載すること。
2. 「前期末残高」、「当期増加額」、「当期減少額」及び「当期末残高」の欄は、当該資産の取得原価によって記載すること。
3. 当期末残高から減価償却累計額又は償却累計額を控除した残高を、「差引当期末残高」の欄に記載すること。
4. 合併、贈与、災害による廃棄、滅失等の特殊な事由で増加若しくは減少があった場合又は同一の種類のものについて資産の総額の1%を超える額の増加は、その事由を欄外に記載すること。若しくは減少があった場合（ただし、建設仮勘定の減少のうち各資産科目への振替によるものは除く。）
5. 特別の法律の規定により資産の再評価が行われた場合その他特別の事由により取得原価の修正が行われた場合には、当該再評価差額等については、「当期増加額」又は「当期減少額」の欄に内書（括弧書）として記載し、その増減の事由を欄外に記載すること。
6. 有形固定資産又は無形固定資産の金額が資産の総額の1%以下である場合又は有形固定資産及び無形固定資産の当該会計年度におけるそれぞれの増加額及び減少額がいずれも当該会計年度末における有形固定資産又は無形固定資産の総額の5%以下である場合には、有形固定資産又は無形固定資産に係る記載中「前期末残高」、「当期増加額」及び「当期減少額」の欄の記載を省略することができる。なお、記載を省略した場合には、その旨注記すること。

様式第六号

医療法第51条第2項該当法人

法人名 社会医療法人 大成会
所在地 福岡県福岡市早良区西新1丁目1番35号

医療法人番号

引当金明細表

区 分	前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (目的使用) (千円)	当期減少額 (その他) (千円)	当期末残高 (千円)
貸倒引当金	8,330	10,780	—	8,330	10,780
賞与引当金	70,646	72,156	70,646	—	72,156
退職給付引当金	402,602	78,012	60,028	—	420,586
役員退職慰労引当金	54,221	8,813	—	—	63,034

※貸倒引当金の「当期減少額（その他）」欄の金額は、洗替によるものであります。

1. 前期末及び当期末貸借対照表に計上されている引当金について、設定目的ごとの科目の区分により記載すること。
2. 「当期減少額」の欄のうち「目的使用」の欄には、各引当金の設定目的である支出又は事実の発生があったことによる取崩額を記載すること。
3. 「当期減少額」の欄のうち「その他」の欄には、目的使用以外の理由による減少額を記載し、減少の理由を注記すること。

様式第七号

医療法第51条第2項該当法人

法人名 社会医療法人 大成会
所在地 福岡県福岡市早良区西新1丁目1番35

医療法人番号

借入金等明細表

区 分	前期末残高 (千円)	当期末残高 (千円)	平均利率 (%)	返済期限
短期借入金	該当なし			
1年以内に返済予定の 長期借入金				
長期借入金(1年以内に 返済予定のものを除く。)				
その他の有利子負債				
合 計				

1. 短期借入金、長期借入金（貸借対照表において流動負債として掲げられているものを含む。以下同じ。）及び金利の負担を伴うその他の負債（以下「その他の有利子負債」という。）について記載すること。
2. 重要な借入金で無利息又は特別の条件による利率が約定されているものがある場合には、その内容を欄外に記載すること。
3. 「その他の有利子負債」の欄は、その種類ごとにその内容を示したうえで記載すること。
4. 「平均利率」の欄には、加重平均利率を記載すること。
5. 長期借入金（1年以内に返済予定のものを除く。）及びその他の有利子負債については、貸借対照表日後5年以内における1年ごとの返済予定額の総額を注記すること。

医療法第51条第2項該当法人

法人名 社会医療法人 大成会
所在地 福岡県福岡市早良区西新1丁目1番35

医療法人番号

有 価 証 券 明 細 表

【債権】

銘	柄	券 面 総 額 (千円)	貸借対照表価額 (千円)
	該当なし		
	計		

【その他】

種 類 及 び 銘 柄	口 数 等	貸借対照表価額 (千円)
該当なし		
計		

1. 貸借対照表の流動資産及びその他の資産に計上されている有価証券について記載すること。
2. 流動資産に計上した有価証券とその他の資産に計上した有価証券を区分し、さらに満期保有目的の債券及びその他の有価証券に区分して記載すること。
3. 銘柄別による有価証券の貸借対照表価額が医療法人の純資産額の1%以下である場合には、当該有価証券に関する記載を省略することができる。
4. 「その他」の欄には有価証券の種類（金融商品取引法第2条第1項各号に掲げる種類をいう。）に区分して記載すること。

様式第九の一号

医療法第51条第2項該当法人

法人名 社会医療法人 大成会
所在地 福岡県福岡市早良区西新1丁目1番35号

医療法人番号

事業費用明細表

(単位：千円)

区 分	本 来 業 務 事 業 費 用			附帯業務 事業費用	収益業務 事業費用	合 計
	事 業 費	本 部 費	計			
材料費	2, 011, 145	—	2, 011, 145	—	—	2, 011, 145
給与費	4, 304, 402	—	4, 304, 402	—	—	4, 304, 402
委託費	552, 472	—	552, 472	—	515	552, 987
経費	800, 880	—	800, 880	—	10, 895	811, 775
売上原価	—	—	—	—	—	—
その他の事業費用	353, 856	—	353, 856	—	2, 119	355, 975
計	8, 022, 755	—	8, 022, 755	—	13, 529	8, 036, 284

1. 売上原価には、当該医療法人の開設する病院等の業務に附随して行われるもの（売店等）及び収益業務のうち商品の仕入れ又は製品の製造を伴う業務について記載すること。
2. 中科目区分には、それぞれ細区分を設け、売上原価については、商品（又は製品）期首たな卸高、当期商品仕入高（又は当期製品製造原価）、商品（又は製品）期末たな卸高を、材料費、給与費、委託費、経費及びその他の費用については、その内訳を示す費目を記載する様式によることもできる。
3. その他の事業費用には、研修費のように材料費、給与費、委託費及び経費の二つ以上の中区分に係る複合費として整理した費目を記載する。

様式第九の二号

医療法第51条第2項該当法人

法人名 社会医療法人 大成会

医療法人番号

所在地 福岡県福岡市早良区西新1丁目1番35号

事業費用明細表
(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位：千円)

科 目		金 額	
I	材料費		
	医療品費	632,374	
	診療材料費	1,291,035	
	医療消耗備品費	62,767	
	医療消耗修繕費	24,969	2,011,145
II	給与費		
	給料・賞与	3,667,586	
	退職給付費用	78,012	
	役員退職慰労引当金繰入額	8,813	
	賞与引当金繰入額	72,156	
	法定福利費	477,835	4,304,402
III	委託費		
	給食委託費	107,612	
	寝具委託費	8,107	
	検査委託費	100,906	
	清掃委託費	86,035	
	保守委託費	199,025	
	その他委託費	51,302	552,987
IV	経費		
	福利厚生費	8,819	
	職員被服費	10,947	
	旅費交通費	5,881	
	通信運搬費	17,841	
	交際費	3,971	
	賃借料	49,370	
	保険料	10,701	
	修繕費	16,820	
	水道光熱費	125,481	
	顧問料	21,180	
	消耗品費	51,721	
	広告宣伝費	4,797	
	諸会費	2,984	
	寄附金	9,380	
	職員募集費	22,089	
	長期前払費用償却	600	
	貸倒引当金繰入	2,450	
	貸倒損失	1,544	
	減価償却費	437,556	
	雑費	7,643	811,775
V	売上原価		
	商品（又は製品）期首たな卸高	—	
	当期商品仕入高（又は当期製品製造原価）	—	
	商品（又は製品）期末たな卸高	—	—
VI	その他の事業費用		
	研修費	12,062	
	租税公課	343,913	355,975
事業費用計			8,036,284

1. 売上原価には、当該医療法人の開設する病院等の業務に附随して行われるもの（売店等）及び収益業務のうち商品の仕入れ又は製品の製造を伴う業務について記載すること。
2. I からVIの中科目区分は、省略する様式によることもできる。
3. その他の事業費用には、研修費のように材料費、給与費、委託費及び経費の二つ以上の中区分に係る複合費として整理した費目を記載する。

独立監査人の監査報告書

令和5年6月11日

社会医療法人 大成会
理事会 御中

公認会計士 篠原俊 事務所

福岡県福岡市

公認会計士 篠原 俊

監査意見

私は、医療法第51条第5項の規定に基づき、社会医療法人大成会の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度の貸借対照表、損益計算書、重要な会計方針及びその他の注記並びに財産目録（以下「計算書類」という。）について監査を行った。

私は、上記の計算書類が、すべての重要な点において厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して作成されているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告書、関係事業者との取引の状況に関する報告書、純資産変動計算書及び附属明細表である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私の計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類の監査における私の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類又は私が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私が報告すべき事項はない。

計算書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して計算書類を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類を作成するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続事業を前提として計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。

監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 計算書類の表示及び注記事項が厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

添付書類（構造設備及び体制）

医療法第42条の2第1項第5号の要件に該当する旨を説明する書類

申請者名： 社会医療法人大成会 理事長 黒田康夫

住 所： 福岡市早良区西新1丁目1番35号

以下のとおり相違ありません。

施 設 名	福岡記念病院
施設の所在地	福岡市早良区西新1丁目1番35号
管轄保健所名	福岡市 早良保健所

1 診療科目

科 目	救急科	外科	整形外科	脳神経外科	内科	循環器内科
	消火器外科	大腸・肛門外科	呼吸器外科	形成外科	消化器内科	脳神経内科
	糖尿病・内分泌内科	感染症内科	小児科	泌尿器科	婦人科	皮膚科
	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	精神科	リウマチ科
	リハビリテーション科	歯科	歯科口腔外科	病理診断科	臨床検査科	心臓血管外科
	呼吸器内科	血管外科	肝臓内科	肝臓外科	脊椎・脊髄外科	乳腺外科

2 許可病床数

一 般		療 養		結 核		精 神		感 染 症		合 計	
室	床	室	床	室	床	室	床	室	床	室	床
86	249									86	249

3 構造設備

(1) 総括表（該当する業務の区分及び所有する施設・設備等の口にチェックすること。）

業務の区分	施 設	設 備 等
☒ 救急医療 ☐ 精神科救急医療 ☒ 災害医療 ☐ へき地医療 ☐ 病院 ☐ へき地診療所 ☐ 周産期医療 ☐ 小児救急医療	☒ 集中治療室 ☐ 母体胎児集中治療管理室 ☐ 新生児集中治療管理室 ☒ 診察室 ☒ 手術室 ☒ 処置室 ☒ 臨床検査施設 ☒ エックス線診療室 ☒ 調剤所 ☐ 保護室 ☒ 面会室 ☒ 専用病床（ 20 床） ☒ 優先的に使用される病床 ☒ 備蓄倉庫 ☒ ヘリポート（ ☐ 敷地内 ☒ 近接地） ☒ 医師住宅 ☒ 看護師住宅	☐ 分娩監視装置 ☐ 新生児用呼吸循環監視装置 ☒ 超音波診断装置 ☐ 新生児用人工換気装置 ☒ 微量輸液装置 ☐ 保育器 ☒ 簡易ベッド ☒ 携帯用医療機器 ☒ 食料 ☒ 飲料水 ☒ 医薬品 ☒ 自家発電装置 ☒ トリアージタッグ ☒ 救急用自動車 ☒ 広域災害・救急医療情報システム

(2) 災害医療の確保に関する事業に係る病院の概要

区 分	構造の概要	耐震基準	用途の区分	室 数
本館・南館	鉄骨鉄筋コンクリート 造陸屋根地下1階付7階 建	耐震基準を有する	CT室	2
			X線室	2
			一般撮影室	3
			汚物処理室	7
			解剖室	1
			化学療法室	1
			患者食堂	1
			ガンマナイフ室	1
			機械室	16
			血管造影室	2
			結石破碎室	1
			検査室	12
			高気圧治療室	1
			事務室	6
			手術室	4
			処置室	3
			診察室	33
			製剤室	1
			倉庫	30
			談話室	5
			調剤室	1
			調理室	1
			特殊浴室	1
			ナースステーション	5
			内視鏡室	1
			廃棄物保管庫	2
			売店	1
			病室	74
			分配室	1
			面談室	7
			薬剤情報管理室	1
			薬品庫	1
			輸血管理室	1
			リネン庫	7
			理容室	1
			霊安室	1
			浴室	2
			その他	122

区 分	構造の概要	耐震基準	用途の区分	室 数
リハビリ棟	鉄骨造陸屋根 8 階建	耐震基準を有する	MRI 室	2
			医局	1
			言語聴覚室	5
			講義室	1
			事務室	4
			倉庫	11
			廃棄物保管庫	1
			無菌製剤室	1
			リハビリテーション室	2
			その他	41
リニアック棟	鉄筋コンクリート造 陸屋根地下 1 階付 5 階建	耐震基準を有する	リニアック室	1
			診察室	1
			倉庫	1
			その他	14

(3) 開設するへき地診療所の所在地の都道府県において病院を開設する場合の当該病院の概要

病 院 名	施 設	へき地診療所からの入院患者の受入れ体制
	☐ 診察室 ☐ 手術室 ☐ 処置室 ☐ 臨床検査施設 ☐ エックス線診療室 ☐ 調剤所 ☐ 病床数 (床) ☐ 医師住宅 ☐ 看護師住宅	
	☐ 診察室 ☐ 手術室 ☐ 処置室 ☐ 臨床検査施設 ☐ エックス線診療室 ☐ 調剤所 ☐ 病床数 (床) ☐ 医師住宅 ☐ 看護師住宅	
	☐ 診察室 ☐ 手術室 ☐ 処置室 ☐ 臨床検査施設 ☐ エックス線診療室 ☐ 調剤所 ☐ 病床数 (床) ☐ 医師住宅 ☐ 看護師住宅	

4 職種別従業員数

職種 人員	医師	歯科医師	薬剤師	診療放射線技師	歯科技工士	臨床検査技師	歯科衛生士	看護師	助産師	栄養士	理学療法士	作業療法士	臨床工学技士	事務職員	調理師	その他	計
定員	17	1	8	5	—	10	2	74	0	3	6	6	5	25	5	—	167
実人員	114	2	22	26	0	16	2	270	0	5	20	12	12	118	0	51	670
内特殊 関係者	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

5 勤務体制

	体制	昼間（15時現在）		夜間（3時現在）		休日（15時現在）	
		専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任
医師	病院内	5	30	2	1	2	1
	オンコール	0	0	3	13	3	13
内 精神科医（再掲）	病院内	1	0	0	0	0	0
	オンコール	0	0	1	0	1	0
内 小児科医（再掲）	病院内	1	0	0	0	0	0
	オンコール	0	0	1	0	1	0
内 産婦人科医（再掲）	病院内	1	0	0	0	0	0
	オンコール	0	0	1	0	1	0
薬剤師	病院内	1	12	1	0	2	0
	オンコール	0	0	0	0	0	0
診療放射線技師	病院内	1	12	2	0	2	0
	オンコール	0	0	0	0	0	0
臨床検査技師	病院内	1	9	1	0	1	0
	オンコール	0	0	1	0	1	0
看護師	病院内	7	101	3	23	7	68
	オンコール	0	0	3	0	3	0
合 計	病院内	15	164	9	24	14	69
	オンコール	0	0	7	13	7	13
内 救急医療（再掲） （精神科救急医療含む）	病院内	13	164	9	24	14	69
	オンコール	0	0	5	13	5	13
内 周産期医療（再掲）	病院内	1	0	0	0	0	0
	オンコール	0	0	1	0	1	0
内 小児救急医療（再掲）	病院内	1	0	0	0	0	0
	オンコール	0	0	1	0	1	0

6 その他の体制

(1) 精神科救急医療の場合のみ

- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行規則第5条の2第1号に基づく都道府県知事の指定の有無（有・無）
- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行規則第5条の2第3号に基づく常時勤務する指定医の人数（ 人）

(2) 災害医療の場合のみ

- ・災害派遣医療チーム（DMAT）の有無（☒有・無）

添付書類 1-2 (救急医療)

医療法第42条の2第1項第5号の要件に該当する旨を説明する書類

申請者名：社会医療法人大成会 理事長 黒田 康夫

住 所：福岡市早良区西新1丁目1番35号

以下のとおり相違ありません。

病 院 名	福岡記念病院
病院の所在地	福岡市早良区西新1丁目1番35号
管轄保健所名	福岡市 早良保健所

〔夜間等救急自動車等搬送件数〕

消防機関の救急自動車による搬送件数	① 11,178件
医療施設が保有する救急用自動車による搬送件数	② 0件
民間会社が保有する救急用自動車による搬送件数	③ 0件
ヘリコプターによる搬送件数	④ 0件
合 計	10,867件
3会計年度平均	3,726件

(記載上の注意事項)

- 直近に終了した3会計年度における夜間（午後6時から翌日の午前8時までとし、休日を除く。）及び休日（日曜日、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第3条に規定する休日及び年末年始の日（1月1日を除く12月29日から1月3日まで）及び土曜日又はその振替日）の救急搬送件数を記載すること。

添付資料

- 夜間等救急自動車等搬送件数明細表
- 夜間等救急自動車等搬送件数を証明する書類（救急搬送証明書等の写し（患者の氏名及び住所に係る記載の部分については、消去等の処理をすること。））

夜間等救急自動車等搬送件数明細表

(自 平成 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月 31日)

消防機関の救急自動車による搬送件数	2, 9 8 5件
医療施設が保有する救急用自動車による搬送件数	0件
民間会社が保有する救急用自動車による搬送件数	0件
ヘリコプターによる搬送件数	0件

(自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月 31日)

消防機関の救急自動車による搬送件数	3, 9 8 4件
医療施設が保有する救急用自動車による搬送件数	0件
民間会社が保有する救急用自動車による搬送件数	0件
ヘリコプターによる搬送件数	0件

(自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月 31日)

消防機関の救急自動車による搬送件数	4, 2 0 9件
医療施設が保有する救急用自動車による搬送件数	0件
民間会社が保有する救急用自動車による搬送件数	0件
ヘリコプターによる搬送件数	0件

(合 計)

消防機関の救急自動車による搬送件数	1 1, 1 7 8件
医療施設が保有する救急用自動車による搬送件数	0件
民間会社が保有する救急用自動車による搬送件数	0件
ヘリコプターによる搬送件数	0件

(記載上の注意事項)

○ (合計) の表以外については、会計年度毎に記載すること。

添付書類 2 (災害医療)

医療法第 4 2 条の 2 第 1 項第 5 号の要件に該当する旨を説明する書類

申請者名：社会医療法人大成会 理事長 黒田 康夫

住 所：福岡市早良区西新 1 丁目 1 番 35 号

以下のとおり相違ありません。

病 院 名	福岡記念病院
病院の所在地	福岡市早良区西新 1 丁目 1 番 35 号
管轄保健所名	福岡市早良保健所

〔時間外等加算割合又は夜間等救急自動車等搬送件数〕

○ 添付書類 1-1 (救急医療) 又は 添付書類 1-2 (救急医療) に記載し、提出 (添付資料を含む。) すること。

〔DMAT 研修等の実績〕

参加者の役職名	訓 練 又 は 研 修		
	実 施 者 名	訓練又は研修名	実施日又は実施期間
医師 2 名	厚生労働省	令和 4 年度 第 1 回及び第 2 回 九州・沖縄ブロック DMAT 技能維持研修 (オンライン研修)	令和 4 年 7 月 18 日 令和 4 年 7 月 19 日
看護師 3 名			
事務 2 名			
医師 1 名	内閣府	令和 4 年度 政府総合防災訓練 (大規模地震時医療活動訓練)	令和 4 年 10 月 1 日
看護師 3 名			
事務 1 名			
医師 1 名	厚生労働省	令和 4 年度 九州・沖縄ブロック DNAT 実動訓練	令和 5 年 1 月 28 日 ～ 令和 5 年 1 月 29 日
看護師 1 名			
薬剤師 1 名			
事務 1 名			
看護師 1 名	厚生労働省	令和 4 年度 日本 DMAT 隊員養成研修 (西日本第 8 回)	令和 5 年 1 月 11 日 ～ 令和 5 年 1 月 14 日

〔DMA T研修等の実績〕

参加者の役職名	訓 練 又 は 研 修		
	実 施 者 名	訓練又は研修名	実施日又は実施期間

(記載上の注意事項)

- 直近に終了した会計年度における防災訓練（都道府県又は国）又は研修（DMA T研修）の参加状況を記載すること。

添付資料

- 訓練又は研修に参加したことを証明する書類（修了証又は実施者からの参加依頼文等の写し（個人名欄は消去すること。））

〔都道府県又は国からの災害派遣チーム（DMA T）の派遣要請への対応〕

派遣要請日時	派遣先（被災地）	派遣者数	派遣要請拒否の理由
平成28年4月15日 ～ 平成28年4月16日	熊本赤十字病院 熊本市市民病院	医師1名、看護師2名、 薬剤師1名、調整員1名	
平成28年4月16日 ～ 平成28年4月17日	福岡空港SCU	医師1名、看護師2名、 薬剤師1名、調整員1名	
平成30年7月8日 ～ 平成30年7月10日	広島県立病院	医師1名、看護師1名、 薬剤師1名、調整員1名	
令和2年7月5日 ～ 令和2年7月8日	熊本労災病院	医師1名、看護師1名、 薬剤師1名、調整員1名	

(記載上の注意事項)

- 過去の派遣要請への対応について記載すること。（過去において派遣要請がない場合は記載する必要はない。）
- 派遣者数は、医師〇名、看護師〇名のように記載すること。

社会医療法人 大成会

令和3年10月1日

理事及び監事に対する報酬等の支給の基準

医療法第42条の2第1項第6号に基づく、医療法施行規則第30条の35の3第1項ニにより、社会医療法人大成会(以下「当法人」という。)の理事及び監事に対する報酬等の支給の基準を次のように定める。

尚、役員報酬の総額は、理事会で協議し、社員総会で承認された報酬限度の範囲内とする。ただし、役員各人の支給額の決定については総額の範囲内で理事会が理事長に一任して決定することもありうるものとする。又、当法人の業績や経営内容、役員本人の成果・責任の実態などを考慮し、原則として毎年度見直しを行うものとする。

第1 対象となる役員等

- 1-1 この基準の対象となる者は、当法人の理事及び監事(以下「理事等」という。)とする。
- 1-2 理事等には、常勤・職員(使用人)兼務役員等及び非常勤の理事等を含むものとする。

第2 報酬等の範囲

- 2-1 この基準の対象となる報酬・賞与その他職務遂行の対価として受ける財産上の利益及び退職手当(以下「報酬等」という。)は、次のことを斟酌し、不当に高額としないよう配慮する。
 - 2-1-1 民間事業者の役員の報酬等
 - 2-1-2 当法人の従業員の給与
 - 2-1-3 当法人の経理(特に損益・収支)の状況
 - 2-1-4 当法人と同規模・類似内容の医療法人の状況
 - 2-1-5 その他、特に配慮すべき事項
- 2-2 理事等には、報酬・賞与・退職手当以外の「職務遂行の対価として受ける財産上の利益」は原則として支給しない。ただし、特別の理由があるとき、その理由・金額等を明らかにして理事会の承認をうるものとする。
- 2-3 理事等には、この基準で定める報酬等のほか、特別の経済的利益の供与をしてはならない。

第3 報酬の勤務形態による区分

- 3-1 理事等の報酬は、次表の勤務形態に応じて区分する。

勤務形態別・月額報酬等一覧表

(金額:千円)

理 事 等		(甲) 常 勤	(乙) 非 常 勤	備 考
A. 理 事	1号	2,000 → 3,500	0 → 500	以上→以下
	2号	1,500 → 3,300		以上→以下
	3号	1,000 → 3,200		以上→以下
	4号	500 → 1,000		以上→以下
B. 監 事	-	0 → 500	0 → 300	以上→以下

(注) ① 「常勤」とは、従業員勤務に準じ、原則として週4日以上勤務、「非常勤」とは、常勤以外で不定期に勤務する理事等をいう。

② 1号から4号は、職位に応じ下記の通りとする。

職位の定義	
1号	理事長
2号	院長
3号	副理事長、病院長代理、副院長理事、施設長理事
4号	その他理事

③ 「－」は、該当しない区分をいう。

④ この金額から源泉徴収税額等を控除する。

3-2 医師等(国家資格者)の理事で、別に定める「年俸契約」による理事は、この基準に含まれるものとする。

第4 報酬等の算定方法

- 4-1 理事等に対する報酬等は、各人毎に3-1に定める表に当てはめて算定し、年俸契約総額とし当直手当等は原則として算定しない。
- 4-2 理事等に対する賞与は支給しない。
- 4-3 監事に対する退職手当は支給しない。
- 4-4 常勤の理事として期間が5年以上ある場合に、退職手当を支給する。
- 4-5 退職手当の額は、次の計算式で算定し、在任中に職位が混在するときはそれぞれの職位で計算した額の合計金額とする。(役職員重複期間に職員として支給された又は支給対象の退職金は差し引く) ただし、支給額は6,000万円を超えないものとする。
- 4-6 退職手当支給時において本人が死亡している場合は、配偶者に支給するものとする。ただし、配偶者がいない場合は遺族とする。

$$\begin{array}{|c|c|} \hline 3-1の表に該当する \\ 月額金額に下記の割合を \\ 乗じた額 \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline 役員年数(12/12) \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline 功績倍率 \\ \hline \end{array} = \text{支給額}$$

1号	100%
2号	70%
3号	50%
4号	

なお、功績倍率は、1から3までとし、顧問弁護士・税理士等の意見も参考とし理事会の承認をうるものとする。

第5 報酬等の支給の方法及び形態

常勤の理事等に対する報酬等(退職手当を除く)の支給の方法は、原則として銀行振込みにより、当月1日から当月末日までの分を1ヶ月とし、翌月の15日に源泉徴収税額等を控除して支給する。

第6 定年

- 6-1 理事の定年は理事長は80歳、その他の理事は70歳とする。監事は80歳とする。
- 6-2 任期途中に6-1の年齢に達した役員については、任期満了をもって定年とする。

第7 その他

- 7-1 この基準の改定は、顧問弁護士・税理士等の意見を聞き、社員総会の議を経て行う。
- 7-2 この基準は、当法人の事務所に備置、債権者等の開示するとともに福岡県知事又は福岡市長に事業報告書等とともに届出・閲覧に供する。

附則

1. この基準は、平成20年11月1日から施行する。
2. 平成21年5月1日付で一部変更
3. 平成29年11月2日付で一部変更
4. 令和3年10月1日付で一部変更

(書類付表3)

保有する資産の明細表

1 総括表

区 分	業務の用に 供する財産	保有財産	減価償却引 当特定預金	特定事業 準備資金	その他の財産
流動資産	1,863,157,919 円			2,000,000,000 円	2,644,415,102 円
現金及び預金				2,000,000,000 円	2,646,380,102 円
事業未収金	1,794,635,171 円				0 円
たな卸資産	49,845,807 円				0 円
前払費用	18,676,941 円				0 円
その他の流動資産	0 円				8,815,000 円
貸倒引当金	0 円				△10,780,000 円
固定資産	3,693,844,274 円	748,862,783 円	0 円	0 円	0 円
有形固定資産	3,365,781,451 円	75,560,800 円			0 円
建物	1,524,921,806 円	0 円			0 円
構築物	13,951,770 円	0 円			0 円
医療用器械備品	408,764,226 円	0 円			0 円
その他の器械備品	81,664,791 円	0 円			0 円
車両及び船舶	6,139,677 円	0 円			0 円
土地	1,330,339,181 円	75,560,800 円			0 円
その他の有形固定資産	0 円	0 円			0 円
無形固定資産	260,096,538 円	673,301,983 円			0 円
建設仮勘定		673,301,983 円			0 円
ソフトウェア	259,596,556 円	0 円			0 円
その他の無形固定資産	499,982 円	0 円			0 円
その他の資産	67,966,285 円		0 円	0 円	0 円
出資金	14,181,000 円				0 円
差入保証金	6,150,000 円				0 円
長期前払費用	47,018,340 円				0 円
長期前払消費税	616,945 円				0 円
その他の固定資産	0 円				0 円
資産合計	①5,557,002,193 円	②748,862,783 円	③ 0 円	④2,000,000,000 円	2,644,415,102 円

(記載上の注意事項)

- 直近に終了した会計年度の貸借対照表に計上する資産について記載すること。
- 表中の科目については貸借対照表に合わせ、必要な科目の追加又は不要な科目の削除を行うこと。

2 業務の用に供する財産の明細

区分	施設名(事業名)	合 計	福岡記念病院	福岡記念PET・ 健診センター	糸島賃貸物件 (貸家業)	メゾン恵友 (貸家業・駐車場業)
流動資産		1,863,157,919 円	1,826,669,256 円	36,362,050 円	87,305 円	39,308 円
事業未収金		1,794,635,171 円	1,759,142,076 円	35,493,095 円	0 円	0 円
たな卸資産		49,845,807 円	49,721,938 円	123,869 円	0 円	0 円
前払費用		18,676,941 円	17,805,242 円	745,086 円	87,305 円	39,308 円
固定資産		3,693,844,274 円	2,545,889,505 円	1,002,533,818 円	138,137,916 円	7,283,035 円
有形固定資産		3,365,781,451 円	2,248,451,865 円	972,703,523 円	138,025,531 円	6,600,532 円
建物		1,524,921,806 円	1,260,852,055 円	199,307,091 円	62,332,378 円	2,430,282 円
構築物		13,951,770 円	13,951,769 円	1 円	0 円	0 円
医療用器械備品		408,764,226 円	365,905,377 円	42,858,831 円	18 円	0 円
その他の器械備品		81,664,791 円	70,974,833 円	10,689,958 円	0 円	0 円
車両及び船舶		6,139,677 円	6,139,677 円	0 円	0 円	0 円
土地		1,330,339,181 円	530,628,154 円	719,847,642 円	75,693,135 円	4,170,250 円
その他の有形固定資産		0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
無形固定資産		260,096,538 円	235,712,835 円	24,383,703 円	0 円	0 円
ソフトウエア		259,596,556 円	235,212,853 円	24,383,703 円	0 円	0 円
その他の無形固定資産		499,982 円	499,982 円	0 円	0 円	0 円
その他の資産		67,966,285 円	61,724,805 円	5,446,592 円	112,385 円	682,503 円
出資金		14,181,000 円	14,181,000 円	0 円	0 円	0 円
差入保証金		6,150,000 円	4,950,000 円	1,200,000 円	0 円	0 円
長期前払費用		47,018,340 円	41,976,860 円	4,246,592 円	112,385 円	682,503 円
長期前払消費税		616,945 円	616,945 円	0 円	0 円	0 円
その他の固定資産		0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
資産合計		⑤5,557,002,193 円	4,372,558,761 円	1,038,895,868 円	138,225,221 円	7,322,343 円

(記載上の注意事項)

- 直近に終了した会計年度の貸借対照表に計上する資産について、開設する施設毎に記載（同一施設内において複数の事業を行っている場合には、主たる事業については施設名、その他については事業名を記載）すること。
- 表中の科目については貸借対照表に合わせ、必要な科目の追加又は不要な科目の削除を行うこと。
ただし、現金、預金、有価証券、建物仮勘定、貸付金その他これに類する資産については追加しないこと。
- ⑤が①と一致すること。

3 保有財産の明細

保有財産（使用目的）	使用予定年月日	取得年月日	取得価額	保有財産の 帳簿価額
診療所用地	R5 年 12 月 1 日	H12 年 5 月 23 日	75,560,800 円	75,560,800 円
合 計	—	—	75,560,800 円	⑥75,560,800 円

(記載上の注意事項)

- ⑥が②と一致すること。

4 減価償却引当特定預金の明細

当該資金の目的	財産の取得又は 改良の予定年度	左記の予定年度 に必要な最低額	減価償却累計額	減価償却引当特定 預金の帳簿価額
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
合 計	—	円	円	⑦ 0 円

(記載上の注意事項)

- ⑦が③と一致すること。

5 特定事業準備資金の明細

当該資金の目的	特定事業の開始 予 定 年 度	左記の予定年度 に必要な最低額	毎会計年度に 積み立てる額	特定事業準備資金の 帳簿価額
病院建設改修積立金	未 定	9,000,000,000 円	— 円	2,000,000,000 円
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
合 計	—	9,000,000,000 円	— 円	⑧2,000,000,000 円

(記載上の注意事項)

- ⑧が④と一致すること。
- 当該資金の目的毎に必要な最低額に関する合理的な算定根拠について、「特定事業準備資金の明細の別紙」（任意の様式）を作成し、併せて提出すること。（なお、当該別紙についても閲覧対象であること）

6 土地の明細

住 所	総面積	内 借地の面積	内 自地の面積	用途の区分
福岡市早良区西新 1-90-1・ 1-90-2・1-91-1・1-91-2・ 1-91-4・1-92-1・1-93-1・1-94-1	2561.04 m ²	0 m ²	2561.04 m ²	病院
福岡市早良区西新 1-91-3	60.56 m ²	0 m ²	60.56 m ²	立体駐車場
福岡市早良区西新 1-88-2・ 1-6-2	472.96 m ²	0 m ²	472.96 m ²	病院（リハビリ棟）
福岡市早良区西新 1-82-3	133.43 m ²	0 m ²	133.43 m ²	病院（リニアック棟）
福岡市中央区今川 2-16-583・ 2-16-583-2・2-16-584・ 2-16-585-2・2-16-574	1745.35 m ²	0 m ²	1745.35 m ²	PET・健診センター
糸島市浦志 2-207-4・2-207-5・ 2-207-6・2-207-9・2-209-6	1476.10 m ²	0 m ²	1476.10 m ²	糸島賃貸物件
福岡市中央区今川 2-7-311・ 2-7-341・2-7-342・2-7-404-1・ 2-7-404-2	618.99 m ²	0 m ²	618.99 m ²	看護師寮 5 寮
福岡市中央区今川 2-1-6-1・2-1-6-2・ 2-1-11・2-1-12	1031.39 m ²	0 m ²	1031.39 m ²	看護師寮 7 寮
福岡市中央区今川 2-1-13-2	393.00 m ²	0 m ²	393.00 m ²	メゾン恵友
福岡市早良区大字西中山 1401-1・1401-6・1403-1	5994.00 m ²	0 m ²	5994.00 m ²	診療所用地
福岡県糸島郡志摩町大字船越 591-223・591-224	777.00 m ²	0 m ²	777.00 m ²	福利厚生施設
大分県由布院町大字川上 2951・2952-1・3050-1・ 3052-8	4.12 m ²	0 m ²	4.12 m ²	福利厚生施設
福岡市早良区百道 1-807	571.40 m ²	0 m ²	571.40 m ²	看護師寮百道寮

7 建物の明細

区 分	構造の概要	総 面 積	自家・借家	用途の区分	用途別の面積
福岡記念病院	鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付7階建（一部非耐震）	10,411.11 m ²	自家	CT 室	55.70 m ²
				X 線室	23.70 m ²
				一般撮影室	66.20 m ²
			自家	汚物処理室	25.76 m ²
				解剖室	21.50 m ²
				化学療法室	16.40 m ²
			自家	患者食堂	120.80 m ²
				ガンマナイフ室	50.10 m ²
				機械室	457.40 m ²
			自家	血管造影室	102.90 m ²
				検査室	192.78 m ²
				高気圧治療室	24.53 m ²
			自家	事務室	124.20 m ²
				手術室	159.80 m ²
				処置室	124.00 m ²
			自家	診察室	546.38 m ²
				製剤室	11.90 m ²
				倉庫	303.78 m ²
			自家	談話室	106.41 m ²
				調剤室	52.40 m ²
				調理室	154.70 m ²
			自家	特殊浴室	15.20 m ²
				ナースステーション	257.95 m ²
				内視鏡室	31.90 m ²
			自家	廃棄物保管庫	6.90 m ²
				売店	61.20 m ²
				病室	2097.73 m ²
			自家	分配室	10.70 m ²
				面談室	54.95 m ²
				薬剤情報管理室	14.40 m ²
			自家	薬品庫	23.50 m ²
				輸血管理室	5.30 m ²
				リネン庫	50.76 m ²
			自家	理容室	10.40 m ²
				盥安室	16.00 m ²
				浴室	58.20 m ²
			自家	廊下	3121.06 m ²
				その他	1833.62 m ²

7 建物の明細0

区 分	構造の概要	総 面 積	自家・借家	用途の区分	用途別の面積
立体駐車場	鉄骨造亜鉛メッキ 鋼板葺平家建	60.84 m ²	自家	患者用駐車場	60.84 m ²
福岡記念病院 (リハビリ棟)	鉄骨造陸屋根 8 階 建 (耐震)	2,670.00 m ²	自家	MRI 室	67.90 m ²
				医局	263.01 m ²
				言語聴覚室	57.80 m ²
			自家	講義室	169.68 m ²
				事務室	435.37 m ²
				倉庫	120.81 m ²
			自家	廃棄物保管庫	6.42 m ²
				無菌製剤室	13.50 m ²
				リハビリテーション室	400.40 m ²
			自家	廊下	331.83 m ²
				その他	803.28 m ²
福岡記念病院 (リニアック棟)	鉄筋コンクリート 造陸屋根地下 1 階 付 5 階建 (耐震)	1,078.33 m ²	自家	リニアック室	136.35 m ²
				診察室	19.10 m ²
				倉庫	39.98 m ²
			自家	廊下	168.14 m ²
				その他	714.76 m ²
福岡記念 PET・ 健診センター	鉄筋コンクリート 造陸屋根地下 1 階 付 3 階建 (耐震)	2,428.07 m ²	自家	診察室	103.46 m ²
				手術室	21.76 m ²
				処置室	113.27 m ²
			自家	臨床検査室	117.79 m ²
				X 線室	189.91 m ²
				消毒室	9.78 m ²
			自家	事務室	186.09 m ²
				待合室	283.78 m ²
				玄関	37.71 m ²
			自家	便所	100.19 m ²
				物置	29.02 m ²
				廊下	262.61 m ²
			自家	その他	972.70 m ²

7 建物の明細

区 分	構造の概要	総 面 積	自家・借家	用途の区分	用途別の面積
糸島賃貸物件	鉄筋コンクリート 造陸屋根 3 階建 (耐震)	1,045.22 m ²	自家	診察室	52.52 m ²
				手術室	31.92 m ²
				処置室	8.10 m ²
			自家	X線室	77.50 m ²
				玄関	13.15 m ²
				待合室	62.35 m ²
			自家	ナースステーション	14.10 m ²
				事務室	23.86 m ²
				便所	34.57 m ²
			自家	洗面所	21.35 m ²
				物置	301.09 m ²
				廊下	375.20 m ²
			自家	その他	29.51 m ²
看護師寮 5 寮	鉄骨造陸屋根 4 階 建 (耐震)	689.07 m ²	自家	看護師寮	689.07 m ²
看護師寮 7 寮	鉄骨造スレート葺 5 階建 (耐震)	1,420.10 m ²	自家	看護師寮	1,420.10 m ²
メゾン恵友	鉄筋コンクリート 造陸屋根 5 階建	797.85 m ²	自家	貸家業物件	797.85 m ²
看護師寮百道寮	鉄筋コンクリート 造陸屋根 4 階建	637.83 m ²	自家	看護師寮	637.83 m ²
ユーワパーク 由布院倶楽部	鉄筋コンクリート 造陸屋根地下 1 階 付 4 階建 (耐震)	6.36 m ²	自家	福利厚生施設	6.36 m ²
病院倉庫・物置	木造瓦葺 2 階建 (非耐震)	121.72 m ²	自家	病院倉庫・物置	121.72 m ²

8 医療用器械備品の明細

品 名	規 格	数 量	単 価	自用・借用	用途の区分
心機能狭窄率解析システム	CCIP-310W	1	1	自用	血管造影室
多目的デジタルX線テレビ装置	アルティマックス	1	1	自用	X線室
硝子体手術システム	アキュラス	1	1	自用	手術室
手術用顕微鏡フロアスタンド型	OPMI YISU 200	1	1	自用	手術室
ゼルトルレーザー	GentleLASE-LE	1	1	自用	診察室
アトム保育器	アトムメディカル	1	1	自用	病棟
手術顕微鏡（脳外科用）	OPMI Neuro200 Multivision(NC4)	1	1	自用	手術室
デジタルファイリング脳波計	EEG-1714	1	1	自用	臨床検査室
尿流量計	ドルニエメディカル	1	1	自用	病棟
ミナジマリスバイポーラ	ジンマー	1	1	自用	手術室
全自動錠剤包装器	高園産業	1	1	自用	薬局
ヘルスジュニア	アイビジョン	1	1	自用	診察室
ホルター心電図解析装置	フクダ電子	1	1	自用	臨床検査室
外科用X線テレビ装置	島津製作所	1	1	自用	X線室
インバータ式問診X線装置	島津製作所	1	1	自用	X線室
非観血圧血圧テスター	フルークバイオ	1	1	自用	臨床工学室
パルスオキシメーター	フルークバイオ	1	1	自用	臨床工学室
日立現像機	日立メディコ	1	1	自用	X線室
東芝乳房X線撮影装置	MGU-100D 型	1	1	自用	X線室
超音波治療器	US-700	1	1	自用	リハビリ
I A B P 救急治療器	DatascopeCSI100	1	1	自用	血管造影室
体外式ペースメーカージェネレーター	EDP 30S	2	1	自用	血管造影室
心筋マーカートロポニンT	カーディアックリーダー	1	1	自用	検査室
高周波焼灼電源装置	PSD-60	1	1	自用	内視鏡室
東芝マルチスライスCTスキャナ	AQUILION 16 型	1	1	自用	CT室
呼吸代謝測定システム	AE-300SRC	1	1	自用	リハビリ
HAL L レシプロケーティングソー	PR-2045	1	1	自用	手術室
NIMパルスセット	メドトロニック	1	1	自用	診察室
東芝Silent-MRIシステム	EXCELART Vantage	1	1	自用	MRI室
キャピオックスEBS装置	テルモ	1	1	自用	ICU室
半自動除細動器	ハートスターXL	1	1	自用	ICU室
全身麻酔装置ファビウス	ドレーグルメディカル	1	1	自用	手術室
オリンパス十二指腸ビデオスコープ	JF-260V	1	1	自用	内視鏡室
オステオトロンⅢ	伊藤超短波	1	1	自用	リハビリ
島津FPD搭載血管撮影システム	BRABSI-ST-SafireHP9	1	1	自用	血管造影室
インプラント用マイクロモーター	Y1001192	1	1	自用	歯科
凍結切片作製装置	CRY03D	1	1	自用	病理検査室
臓器撮影装置	DY-N-XY	1	1	自用	病理検査室
密閉式自動固定包埋装置	VIP-J0	1	1	自用	病理検査室

8 医療用器械備品の明細

品 名	規 格	数 量	単 価	自用・借用	用途の区分
自動染色装置	DRS-Prisma-JoD	1	1	自用	病理検査室
全自動細菌同定感受性検査装置	バイオテック2ブルー	1	1	自用	細菌検査室
自動血液培養・抗酸菌培養装置	バクテアラート3D コンビネーション	1	1	自用	細菌検査室
インキュベーター	MIR-254	1	1	自用	細菌検査室
万能型成人実習モデル	さくらII M75B	1	1	自用	看護部
血液浄化装置	KM-8700EX	1	1	自用	I C U
島津外科用 X 線 TV システム	OPESCOPE ACTIVO WHA-200	1	1	自用	X線室
島津回診用 X 線撮影装置	MobileART EVOLUTION	1	1	自用	X線室
全自動血球分析装置	XT-1800i	1	1	自用	生化学検査室
全自動血液凝固測定装置	CA-620	1	1	自用	生化学検査室
CALNEO-C 及び画像読取装置	FCR PROFEST CS	1	1	自用	放射線科
IPC 耳鼻科用ドリルシステム	日本メトロニック ソファモアグネック	1	1	自用	耳鼻科
東芝 320 列 C T 装置	AQUILION/ONE TSX- 301A	1	1	自用	放射線科
島津昇降式 X 線テレビシステム	FLEXAVISION FD	1	1	自用	放射線科
脳外科用手術システム	973-SYSJ	1	1	自用	手術室
人工心肺装置	S5	1	1	自用	手術室
大動脈バルーンポンプ	CS300	2	1	自用	手術室
トランジット血流計	VQ2111	1	1	自用	手術室
C D I 500 対外循環用血液パラメータ モニタシステム	System500	1	1	自用	手術室
ヴィジランスヘモダイナミックモニター	Vigilance II	2	1	自用	手術室
手術室映像支援システム	ACK	1	1	自用	手術室
ソノベット	UST2001	1	1	自用	手術室
島津 F P D 搭載血管撮影システム	BRANSIST Safire VB9	1	1	自用	血管造影室
ドルニエ対外衝撃波結石破碎装置	ドルニエメドテック	1	1	自用	結石破碎室
カールツァイス手術用顕微鏡一式	OPMI PENTERO	1	1	自用	手術室
シャープ超音波洗浄装置	MU-5100	1	1	自用	手術室
脳神経外科マイダスレジェンドドリル	メドトロニック	1	1	自用	手術室
整形外科関節鏡カメラ一式	日本ストライカー	1	1	自用	手術室
使用済注射薬等自動認識集計装置	オオクマ電子	1	1	自用	手術室
島津天井走行式一般撮影装置	RADspeed Pro	1	1	自用	放射線科
東芝 80 列 C T 装置	AQUILION PRIME	1	1	自用	放射線科
白内障手術装置	アルコン B01-06	1	1	自用	手術室
骨塩量測定装置	DCS-900FX	1	1	自用	手術室

8 医療用器械備品の明細

品 名	規 格	数 量	単 価	自用・借用	用途の区分
高周波手術装置	VI0300D/APC2	1	1	自用	内視鏡室
全身麻酔装置タイロ	8606000	2	2	自用	手術室
全人麻酔装置アポロ	8606500	1	1	自用	手術室
放射線治療装置リニアック	エレクト Synergy	1	2	自用	手術室
眼底三次元画像解析検査機器	HD-OCTplus	1	1, 237, 584	自用	検査室
ジャクソンベッド	02-14-52.0	1	1	自用	手術室
電動手術台	MOT-5701	1	1	自用	手術室
電気メスプラットフォーム	ForceTriad	1	1	自用	手術室
神経機能検査機器	MEE-1216	1	1	自用	手術室
脊椎外科用移動型 X 線	SIREMOBIL compact	1	1	自用	放射線科
核医学検査 (RI) 装置	Symbia Evo Excel	1	1	自用	RI 室
救急外来用全身麻酔装置	ファビウス Plus	1	1	自用	結石破砕室
脳波計	EEG-1214	1	1	自用	生理検査室
筋電図誘発電位検査装置	MEB-9402	1	1	自用	リハビリ
眼底カメラ走査レーザー検眼鏡	オプトス 200TX	1	3, 849, 712	自用	眼科
心臓運動モニタリングシステム	MLX-1000H	1	450, 193	自用	リハビリ
フクダ電子人工呼吸器	ServoS	4	1	自用	ME センター
YAG レーザーセレクトオプサルミッ クレーザー	ルミンス	1	1	自用	眼科
ClosureRFG ジェネレーター	コヴィディエン	1	1	自用	手術室
GE ヘルスケア磁気共鳴断層撮影装置	SignaPioneer3.0TSP	1	15, 787, 641	自用	放射線科
多用途血液浄化装置	川澄化学 KM-900	1	709, 662	自用	ME センター
心臓マッピングシステム	EnSitePrecisionSystem	1	3, 074, 621	自用	血管造影室
ニデック 屈折度測定装置	TONOREF III	1	1, 276, 173	自用	眼科
メドトロニック クライオ装置	CryoConsole	1	2, 340, 001	自用	血管造影室
コバルト 60 レクセルガンマナイフ ユニット線源	日本アイソトープ協会	1	24, 979, 234	自用	ガンマナイフ室
アブレーション装置	WorkMateClarissystem120ch	1	2, 332, 800	自用	血管造影室
レーザー光凝固装置	トプコン	1	2, 025, 361	自用	眼科
耳鼻科内視鏡システム	オリンパス VISERA ELITE	1	2, 303, 601	自用	耳鼻科
ヘモスフィア	エドワーズライフサイエンス	2	1, 779, 778	自用	手術室、ICU 室
消化器内視鏡システム	EVIS LUCERA ELITE/CV-290	1	2, 361, 464	自用	内視鏡室
超音波診断装置	LISEND0880	1	6, 723, 163	自用	生理検査室
超音波診断装置	ARIETTA850	1	3, 487, 641	自用	生理検査室
歯科 X 線撮影システム	ヨシダ サイファー-E	1	2, 987, 827	自用	歯科
器具除染用洗浄機	RA-160EU4	1	2, 435, 417	自用	手術室
高圧蒸気滅菌器・ガス滅菌器	RX-18N/EQ-150	1	12, 194, 761	自用	手術室
デジタル回診車	CALNEO AQRO	1	8, 903, 001	自用	病棟
キャピオックス遠心コントローラー	テルモ	1	5, 736, 200	自用	ME センター
ハンフリーフィールドアナライザー	カールツァイス HFAIII840	1	4, 302, 340	自用	眼科

